

事業所名

ウッドワン・デイサービス

支援プログラム

作成日

2025年

3月

15日

法人（事業所）理念		「笑顔を増やす」「適応力を身につける」「自分らしさを持つ」の3つを柱とし、「ただいま」と安心して帰ってこられる場所、ありのままを表現でき自分らしくすごせる居心地の良い場所を目指しています							
支援方針		まずは日々を楽しみ、生き活きと得意を伸ばしていきながら、様々なことに挑戦する気持ちを大切にしていこうとして活動やお友達の関わりの中から社会性の向上と自立に向けて様々なスキルの取得を目指していこう							
営業時間		平日 9時	30分	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし	
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	生活リズムの確立 健康状態の観察、日々の手洗い、うがい、体温を実施するなかで様子の変化を見逃さないようにし、気になったことについては保護者に報告をしています。洗濯物たたみ、掃除を活動のなかに取り入れることで自立に向けて生活面で必要なスキルを身につけてもらえるようにしています。またクッキングや屋上にある畑での野菜作りを通して、食育に対する意識の広がりや自然と食との関わりを深めていきます。							
	運動・感覚	ストレッチ、ヨガ、なわとび、ボール遊びなどの身体を動かす活動を通じて、姿勢の保持やバランス感覚、体幹や身体能力の向上を目指しています。お箸つかみや粘土工作、スライム作り、またハサミを使うことで指先の感覚を養ったり、道具の使い方、加減を覚えてもらえるようにしています。							
	認知・行動	見通しを持ってもらえるように1日のスケジュールや月間の活動内容、過ごすなかでの約束事を掲示しています。また指導員が個別に声掛けをして伝えたり、タイマーを使用することで視覚的、聴覚的に切り替えて行動できるようにサポートしています。またルールについて考える活動をしたり、遊びの中から覚えてもらえるようにしています。							
	言語コミュニケーション	ウッドワンで過ごすなかで起こる様々な関わりを通じて、まずは基本的なあいさつやから始まり、物の貸し借りや自分の気持ちの伝え方、相手に合わせた言葉使いなどを身につけてもらえるようにしています。また言語だけでなく、それぞれに合ったコミュニケーション方法の取得をサポートし、コミュニケーションの向上を目指しています。							
	人間関係社会性	まずは指導員との継続的な関わりを通して信頼関係を構築していきます。また活動や遊びを通してお友達と関わる機会を積極的に作り、その中で自己を表現し、相手の考えを受け止め理解することで、相互理解や人間関係の形成をサポートしていきます。外出活動時には公共施設や公共交通機関を使うことで社会のルールやお金を使う経験をしてもらっていきます。							
家族支援	ウッドワンでの様子、ご自宅での様子を相互に共有するために定期的な面談の実施や送迎時も積極的にコミュニケーションを取り、必要に応じてアドバイスを行うようにしています。	移行支援		ご本人様のライフステージやご本人様、ご家族の意向に配慮した放課後児童クラブ、就労支援事業所等への移行支援を行っていきます。					
地域支援・地域連携	学校や関係機関、他事業所と情報共有をし、必要に応じて担当者会議の開催や参加をしています。	職員の質の向上		年間計画に基づき社内研修の実施 自治体などが実施する外部研修への積極的な参加 強度行動障害支援者育成研修、相談支援児童発達支援管理責任者研修の受講					
主な行事等	避難訓練（年2回）お誕生日会（各月）お花見（4月）水遊び（夏休み）夏祭り（8月）ハロウィンパーティー（10月）クリスマス会（12月）など季節に合わせた行事 その他、土曜日や長期休暇は大型公園やお祭り、アミューズメント施設（映画、スケート、ボーリングなど）に外出しております								

事業所名

ウッドワン・デイサービス2

支援プログラム

作成日

2025年

3月

15日

法人（事業所）理念		「笑顔を増やす」「適応力を身につける」「自分らしさを持つ」の3つを柱とし、「ただいま」と安心して帰ってこられる場所、ありのままを表現でき自分らしくすごせる居心地の良い場所を目指しています							
支援方針		まずは日々を楽しく、活き活きと得意を伸ばしていきながら、様々なことに挑戦する気持ちを大切にいく そして活動やお友達の関わりの中から社会性の向上と自立に向けて様々なスキルの取得を目指していく							
営業時間		平日 9時	30分	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし	
		支援内容							
本人支援	健康・生活	生活リズムの確立 健康状態の観察、日々の手洗い、うがい、検温を実施するなかで様子の変化を見逃さないようにし、気になったことについては保護者様に報告をしています。 洗濯物たたみ、掃除を活動のなかに取り入れることで自立に向けて生活面で必要なスキルを身につけてもらえるようにしています。 またクッキングや屋上にある畑での野菜作りを通して、食育に対する意識の広がりや自然と食との関わりを深めていきます。							
	運動・感覚	ストレッチ、ヨガ、なわとび、ボール遊びなどの身体を動かす活動を通じて、姿勢の保持やバランス感覚、体幹や身体能力の向上を目指しています。 お箸つかみや粘土工作、スライム作り、またハサミを使うことで指先の感覚を養ったり、道具の使い方、加減を覚えてもらえるようにしています。							
	認知・行動	見通しを持ってもらえるように室内に1日のスケジュールや月間の活動内容、過ごすなかでの約束事を掲示しています。 また指導員が個別に声掛けをして伝えたり、タイマーを使用することで視覚的、聴覚的に切り替えて行動できるようにサポートしています。 またルールについて考える活動をしたり、遊びの中から覚えてもらえるようにしています。							
	言語コミュニケーション	ウッドワンで過ごすなかで起こる様々な関わりを通して、まずは基本的なあいさつやから始まり、物の貸し借りや自分の気持ちの伝え方、相手に合わせた言葉使いなどを身につけてもらえるようにしています。 また言語だけでなく、それぞれに合ったコミュニケーション方法の取得をサポートし、コミュニケーションの向上を目指しています。							
	人間関係 社会性	まずは指導員との継続的な関わりを通して信頼関係を構築していきます。 また活動や遊びを通してお友達と関わる機会を積極的に作り、その中で自己を表現し、相手の考えを受け止め理解することで、相互理解や人間関係の形成をサポートしていきます。 外出活動時には公共施設や公共交通機関を使うことで社会のルールやお金を使う経験をしてもらっていきます。							
家族支援	ウッドワンでの様子、ご自宅での様子を相互に共有するために定期的な面談の実施や送迎時も積極的にコミュニケーションを取り、必要に応じてアドバイスをを行うようにしています。	移行支援	ご本人様のライフステージやご本人様、ご家族の意向に配慮した放課後児童クラブ、就労支援事業所等への移行支援を行っていきます。						
地域支援・地域連携	学校や関係機関、他事業所と情報共有をし、必要に応じて担当者会議の開催や参加をしています。	職員の質の向上	年間計画に基づき社内研修の実施 自治体などが実施する外部研修への積極的な参加 強度行動障害支援者育成研修、相談支援児童発達支援管理責任者研修の受講						
主な行事等	避難訓練（年2回）お誕生日会（各月）お花見（4月）水遊び（夏休み）夏祭り（8月）ハロウィーンパーティー（10月）クリスマス会（12月）など季節に合わせた行事 その他、土曜日や長期休暇は大型公園やお祭り、アミューズメント施設（映画、スケート、ボーリングなど）に外出をしています								